

DATA FILE



等軸晶系

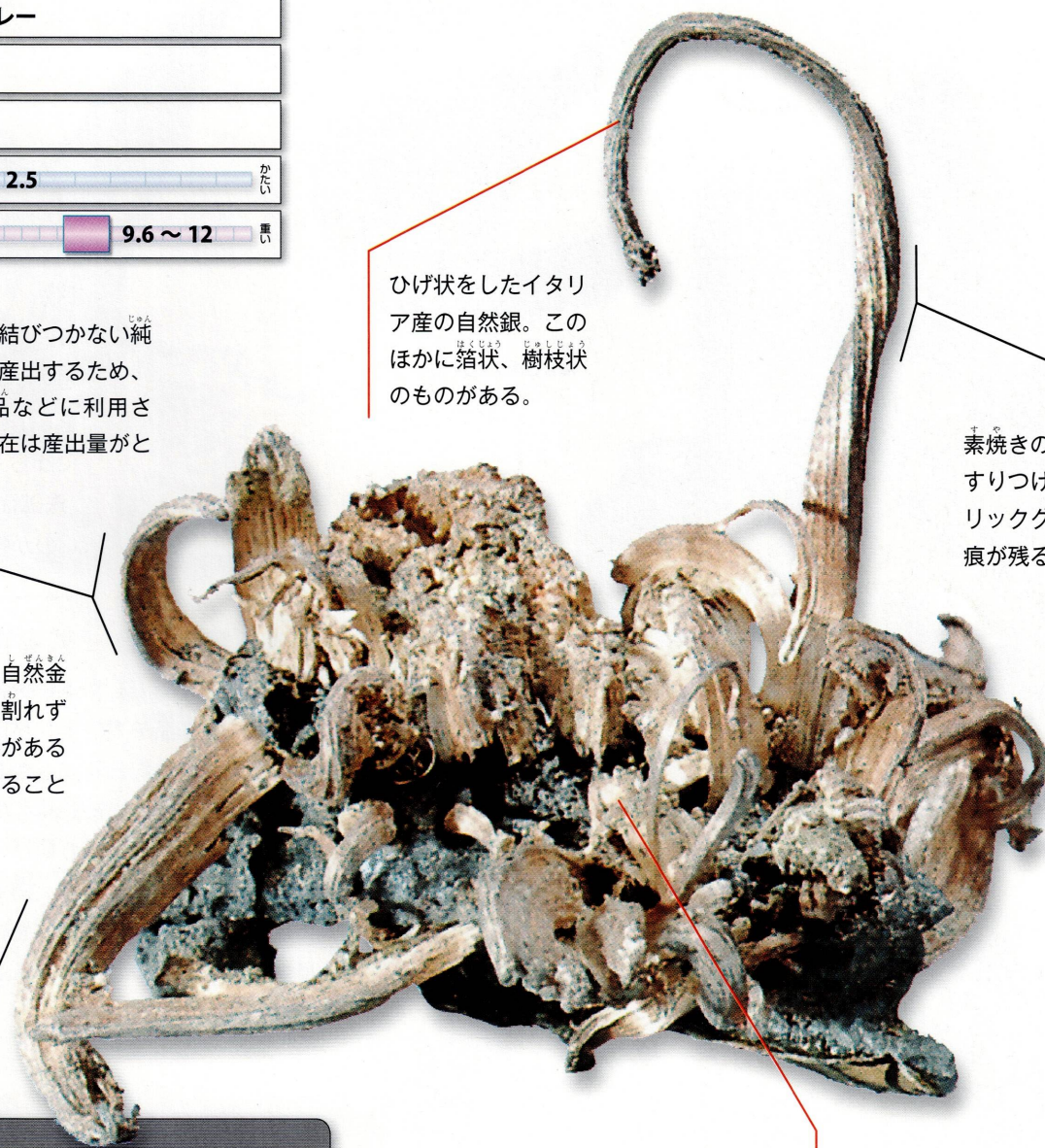
名 前	SILVER (シルバー) / 自然銀
化学組成	Ag
色	銀白色
光 沢	金属光沢
蛍 光	なし
条 痕	メタリックグレー
劈 開	なし
断 口	凹凸状
硬 度	2.5
比 重	9.6 ~ 12

ほかの鉱物とは結びつかない純粋な結晶の形で産出するため、古くから装飾品などに利用されていたが、現在は産出量がとても少ない。

断口は凹凸状だが、自然金のようにたたいても割れずに平らにのびる性質があるため、箔状に加工することができる。

ひげ状をしたイタリア産の自然銀。このほかに箔状、樹枝状のものがある。

素焼きの陶板にこすりつけるとメタリックグレーの条痕が残る。



保存方法



錆びやすいのは、空気中に含まれる硫黄化合物と反応して硫化銀ができるため、表面が黒くなってしまうので注意が必要。保存する際には、密閉できる容器に入れる。

◀ 白い方解石の中から見つかった、黒い輝銀鉱の上に木の枝のように伸びる自然銀の結晶。硫化銀に変化し、黒くなっている。

金属のような光沢があらわれている。表面をきれいに磨くと、受けた光の90%以上を反射する。

自然銀

SILVER

純粋な銀の塊

木の枝のような形やねじれた紐のような形、ひげのような形で産出する自然銀は、ほかの鉱物と結びつかない純粋な銀の塊だ。ハンマーなどでたたいても、割れにくく、平らにのびる性質があるので、箔状にすることができる。このような性質は自然銀のほか、自然金、自然銅などにも見られる。

シ 自然銀



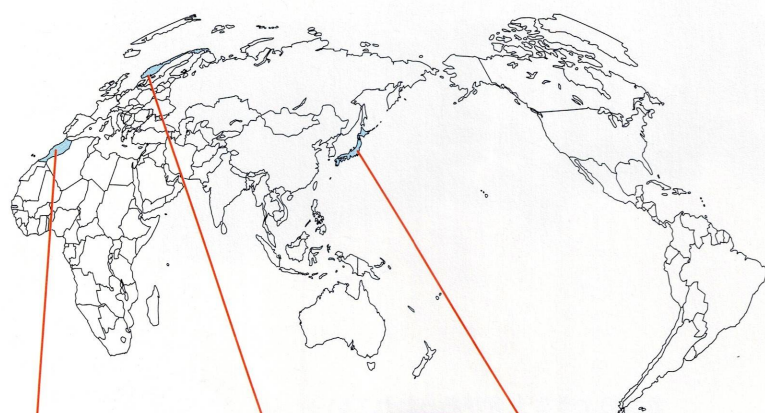
▲ひげ状の自然銀。

◀自然銀は普通、このような状態で産出する。



▼ひげのように上にのびた自然銀の結晶。

主な産地



モロッコ

イミテル鉱山では、自然銀のほか、銀を含有する鉱物が産出する。

ノルウェー

コングスベルグ鉱山で、かつては美しい結晶が産出したが、1956年に閉山された。

日本

北海道札幌市の豊羽鉱山や岐阜県神岡町の神岡鉱山などで、閃亜鉛鉱や方鉛鉱などの鉱石の空隙に樹枝状やひげ状、箔状のものが見つかった。



▲白い方解石の上に糸のような自然銀の結晶が集まっている。

さまざまな用途

軟らかくて加工しやすい銀は、耐食性にも優れているため、装飾品やアクセサリー、食器など、古くからさまざまな用いられる。しかし、自然銀の産出量は銀を含有する鉱物の1%未満しかいないため、産業用には針銀鉱など、他の元素と結びついた鉱物が利用されている。また、工業用には、消毒薬や写真のフィルムのほか、電気をよく通す性質を持つため、ほかの金属と合金にしてメッキに使われることもある。